

日本食道学会 50周年を迎えて



日本食道学会 理事長

松原 久裕

(千葉大学大学院 医学研究院 先端外科学)

日本食道学会は日本食道疾患研究会として1965年に設立し、今年度で50周年を迎えます。徳島市において、この年の10月に第1回研究会が開催されたようです。

第50回研究会を当番世話人として主催された山田明義先生が「食道疾患研究会30年の歩み」という記念講演会を企画され、この講演会の内容を立派な冊子として発刊されました。食道疾患研究会の沿革については、この冊子の最初の部分に記載されております。中山恒明先生を中心に、その前年に準備委員会が結成され、10月に会長、桂重次先生、第1回当番世話人として赤倉一郎先生が主催されました。その当時の出席者は100名前後だったようです。その後、発展を重ねて参りましたが、30年の歩みの詳細については名誉会長の掛川暉夫先生がご講演なさっており、記念講演「食道疾患研究会30年の歩み」というこの記録集に非常にわかりやすく記載されております。当研究会の歩みがそのまま食道癌治療の発展の歴史であることがひしひしと伝わって参ります。

その精神を引き継ぎながら、さらなる発展をめざし、2002年にその当時の会長であった磯野可一先生が決断、世話人会での承認を受け、次期当番世話人であった今村正之先生が初代日本食道学会会長として日本食道学会に発展的移行することとなり、新たな歩みを進めることとなりました。

私自身は、当科の磯野可一教授が会長であり、事務局がその当時千葉大学第2外科に置かれていたため、関連病院の出張から大学に戻った1994年頃から事務局の業務の下働きが始まりました。その頃はまだ紙で収集していた全国登録や業績目録の作業が大変だったことを記憶しています。

1999年からは幹事を拝命し、事務局の運営等にも積極的に関わるようになりました。2002年の学会への移行に際しては、今村会長のご指導を頂きながら、事務処理を進めました。この当時、最も重要な課題は独自の英文誌の発行であり、「日本からの情報発信媒体として何とでも必要である」との認識は一致しておりましたが、経費がかかるため財政基盤のできていない新しい学会が持ちこたえられるかという危惧があり、議論が交わされました。最終的に、「独自の英文誌を持たずして、学会の意義はない」との決断のもと、Esophagusが発刊されることが決まり、初代編集委員長の安藤暢敏先生とともに発刊準備に邁進いたしました。現在は安定的に発行できるようになり、またImpact Factorも付いておりますがMedlineへの収録は達成されておらず、今後さらに素晴らしい雑誌とするべく一層の努力が必要であり、本学会の重要課題の1つであります。

食道疾患研究会から50年、学会としては13年目を迎えたわけですが、前述の英文誌とも関係しますがInternational Society for Diseases of the Esophagus (ISDE) との連携のあり方を含めた当学会の国際化、国際連携も重要な課題です。アジアの諸国からは、扁平上皮癌をメインに日本を中心とした連携も求められております。当学会で認定している食道科認定医、食道外科専門医についても専門医機構の専門医制度が始まる中、今後の方向性、進め方も重要な課題です。施設の集約化、次世代の若手医師の育成等の問題が関連してきます。

先日の評議員会でお認めいただいた50周年記念事業ですが、平成28年1月11日(月・成人の日)に日本食道学会記念大会を開催することといたしました。準備委員長として北川雄光理事にご就任いただき、プログラム作成等ご尽力いただいております。本学会の課題につき「日本食道学会のこれから」というテーマで討論会を行います。また、掛川暉夫先生、磯野可一先生、幕内博康先生、安藤暢敏先生4名の名誉会長による座談会「日本食道疾患研究会の創成期と学会への歩み」を予定しております。

先達からの素晴らしい伝統を受け継ぎ、食道疾患を抱える方のためより良い治療を創出し、今後さらなる発展をめざしていくために、ご多忙とは存じますが、是非とも皆様に参加いただき、次の50年へつなげたいと思います。今後とも、ご協力よろしくお願い申し上げます。



日本食道学会50周年記念式典

日本食道学会50周年記念大会

【日 時】平成28年1月11日(月) 成人の日
午前10時 開始

【場 所】一橋大学一橋講堂(学術総合センター2階)
〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

日本食道学会50周年記念懇親会

【日 時】平成28年1月11日(月) 成人の日
午後1時 開宴

【場 所】学士会館
〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3-28

【参加費】5,000円

お問い合わせは事務局までE-mailにてお願いいたします。
日本食道学会事務局 E-mail: office@esophagus.jp

会 告

第72回日本食道学会学術集会



第72回日本食道学会学術集会 会長

(

この度、第72回日本食道学会学術集会の会長を拝命いたしました
獨協医科大学第一外科 加藤広行でございます。

長い歴史と伝統のある本学会学術集会を開催させていただけます
ことを感謝申し上げますとともに、身の引き締まる思いを感じていると
ころでございます。

学会の会期は2018年の6月もしくは7月で、会場を栃木県宇都宮市
にて開催させていただきたいと存じます。宇都宮市は餃子の他にも
カクテルが有名な街であり、また近隣には日光や那須などの観光地
もございます。学会での熱い議論のあとは食や観光でお楽しみい
ただければ幸いです。

実りある会となるよう、プログラムにも趣向を凝らして参りたいと
存じます。ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上
げます。